

「センター」の整備
・ホノルル市との姉妹都市提携60周年に際し、両市を相互に訪問し、今後も友好な親善交流に取り組む。

人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり

・第4次那覇市男女共同参画計画を推進し、人権が尊重される社会づくり、などに引き続き取り組む。
・いじめやデートDV防止、将来のDV防止に繋げるための、若年層への人権に関する意識啓発

互いの幸せを地域と福祉で支え合い誰もが輝くまち NAHA

地域で暮らし地域で支えるまちづくり
・災害時に避難行動要支援者の避難を迅速に行うための避難支援体制の構築に取り組む。
・医療、介護などのサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの充実と24時間体制の訪問看護介護の整備
・介護保険や老人福祉に関する次期事業計画「第8次なは高齢者プラン」の策定
・屋外での移動が困難な障がいのある重度心身障がい児の通学支援
・貧困問題に起因することもまたの様々な課題に対し、支援員を配置し、学校や地域、企業などとの連携を強化し、支援の和を広げる。

すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり
・健康ウォーキング大会などを通して、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう継続的に支援
・関係機関による職場での健康づくりや「食の健康づくり応援団」の充実・強化
・2歳児歯科健康診査の継続と、安全面などに配慮した全小中学校でのフッ化物洗口の推進



身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり

・AIを活用した特定健診の受診を勧奨
・生活習慣病重症化予防のため、医療専門職による健康管理に関する適切な指導を実施
・市立病院の建替えについて、災害に強く安全安心な医療環境を提供するため、病院当局と協力し整備促進
衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり
・市民や観光客に安定した食の提供を行うため、食品等事業者に対し、HACCPの普及推進を強化
・妊娠を希望する女性などに対し、風しん抗体検査を無料でを行い、ワクチン接種を推奨
・結核の早期発見と感染拡大防止のため、定期健康診査に係る費用などを支援

次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち NAHA

子育てが楽しくなるまちづくり

・待機児童の解消に向け、保育所などの施設整備、潜在保育士の復職支援などの事業を実施し、保育士確保に努める。
・年収360万円未満相当世帯の3歳から5歳児、また所得に関わらず、第3子以降の子どもの保育施設などでの主食費の減免措置
・子どもと家庭に関する訪問相談、関係機関と連携した児童虐待の未然防止および早期発見・対応
・学校以外の場所における学びの機会の格差を解消するため、スタディクーポンを活用した事業を実施

自らの力で未来を拓く子どもたちを応援するまちづくり

・全中学校区に子ども寄添支援員を配置し、児童生徒の置かれた環境を確認し、学校や行政などの関係機関との連携強化
・教員の「働き方改革」を進めるため、部活動指導員を各中学校に配置するなど、学校教育活動の充実や部活動の質的な向上の推進
・児童生徒の県外大会への派遣支援の拡充を図るため、準要保護世帯に対する航空運賃を全額助成し、助成対象を中学校クラブチームや私立小中学校の児童生徒に拡大
・若狭小学校校舎や垣花小学校体育館の改築工事に着手し、引き続き、学校施設の改築などを推進

生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり

・新たに開館する那覇市人材育成支援センター「まいまいNAHA」で、観光産業分野などで活躍できる人材を育成し、住民の学習・交流活動などを支援
・子どもたちの安全安心な居場所づくりのための、放課後子ども教室の充実
・地域・学校連携施設を地域の人々をつなぐ場として提供するため、ICTを活用し利便性向上に取り組む

郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり

・市固有の文化を継承するとともに、日本遺産を構成する有形・無形の文化財を国内外へ発信
・貴重な文化財を次世代に継承するため、琉球国王尚家関係資料の継続的な修理
・急増する来訪者のニーズに対応するため、識名園などの環境整備
・首里城火災後の首里のまちづくりに向け、周辺文化遺産などを含めた計画となるよう、国や県と連携強化
・那覇文化芸術劇場「なはーと」建設の推進

ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる万国津梁のまち NAHA

ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり



・10回目を迎える読売巨人軍春季那覇キャンプの環境整備と支援の継続
・市を訪れる国内外の観光客を対象とした夜型観光コンテンツなどの周知
・首里城公園を出発する東京オリンピック聖火リレーが、盛況かつ安全に実施されるための取組

様々な産業が集い、育ち、ひろがるまちづくり

・第2クルーズ船バースなどの整備やクルーズ船寄航誘致を支援
・市内の起業家や中小企業と投資家などのマッチングの場を設け、資金調達企業支援を促進
・那覇市独自の観光・地域資源を活かした新たな商品やサービスの企画・開発を行う企業を支援
・市内中小企業・小規模事業者の経営基盤強化のため、各種セミナーの開催、および企業の実情にあった専門家の派遣などの支援
・伝統工芸の担い手育成のため、染物や織物の産地拠点施設の整備支援と、その魅力発信
・活気ある水産拠点の形成をめざした、漁業所得の向上や経営基盤の強化



産業を支える市民とその労働環境を整えるまちづくり

・なは産業支援センターなどを活用し、気軽に創業や就業に関する相談ができる環境づくり
・情報技術や、論理的思考を身につける人材を育成するため、小学生対象のプログラミング講座などの実施
・若年層の失業率、定着率の改善を目指した、小中学生へのキャリア教育支援を実施
中心市街地を活かしたまちづくり
・頑張るマチグラー等支援基金を活用した、商店街が行う誘客事業や利用促進を図るPR事業などの支援
・沖縄の食の魅力発信拠点として、「食」を中心とした回遊性の向上と更なる観光客の誘客促進を図るため、

第一牧志公設市場の再整備に引き続き取り組む。

自然環境と都市機能が調和した住みつけたいまち NAHA

省エネを実践し、資源が循環するまちづくり
・大規模な災害時に発生する廃棄物の処理を迅速かつ適切に進めるための、災害廃棄物処理計画の策定
・外食事業者を対象に「食べきり協力店登録制度」を導入し、廃棄物の排出抑制に取り組む。

自然環境が育まれた那覇らしい亜熱帯庭園都市のまちづくり

・市民ニーズに応じた自然観察会や清掃活動を行い、引き続き、環境啓発に取り組む。
・首里、壺屋地区において、赤瓦屋根や石積みなどへ継続して助成し、歴史・文化に彩られた那覇の景観向上に取り組む。
・民間活力を活かしたPark PFI制度の活用を視野に入れ、利用者の安全安心を確保するため、遊具などの適切な管理および更新を実施
・市街地の緑化を促進することで、みどりに親しみ、魅力溢れるまちを目指す。

暮らしを良く歩いて楽しい快適なまちづくり

・農産物産出地区の保育所や市営住宅を供用開始し、うれんプラザを核とする賑わい空間の創出を図る。
・まちづくりを支える公共交通の観点から、LRTなどを中心市街地、真和志、新都心の各地域を結ぶ公共交通軸として位置づけ、交通事業者との合意形成を図る。
・ゆいレールは、輸送力増強の観点から、3両編成に向け整備に取り組む。
・各市営住宅の建替工事を継続し、真地市営住宅は高齢者福祉施設を併設した実施設計を実施



災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり

・都市計画道路について、交通渋滞の緩和や快適な歩行空間の確保など、体系的な道路網の整備を推進
・老朽化している甲辰橋の架け替えを推進し、生活道路の役割を担う橋梁についても、調査点検などを実施
・水道水の安定供給のため、引き続き豊見城配水池建設を進め、市内一円において水道施設の耐震化を実施
・公共下水道の整備を進め、ストックマネジメント計画に基づき、計画的・効率的な修繕・改築に取り組む

那覇の魅力と特性を活かした土地利用を進めるまちづくり

・都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、誰もが安心して、移動しやすいまちづくりを推進するため、主要渋滞箇所における対策検討調査に取り組む。

市民との信頼を深め、効果的な行財政運営を行う

市民との信頼を深める職員の育成と組織づくり
・住民異動における申請書への記入を省略するなど、手続きの簡素化を図られるよう支援システムを導入
・市税や保険料をいつでもどこでも納付ができるスマホ収納を新たに導入
・RPAによる業務効率化を進め、AIとのチャット形式により情報を容易に入手できるサービスを導入
・技術部門の統括機能をさらに高めるため、技術管理課と地籍調査課を「技術総務課」に統合

効果的で効果的な行財政運営

・「誰一人取り残さない」というSDGsの理念にしっかりと向き合い、SDGsに対する機運の醸成に向け、シンポジウムを開催
・税収の維持確保に努めるとともに、ファシリテイマ・レジメントを推進、施設整備における民間活用を検討
・令和3年の市制施行100周年に向け、各種記念事業の企画立案を進め、演劇公演などのイベントを実施

令和2年度 主な事業一覧 (単位:千円)

●子供の貧困緊急対策事業	153,398
●那覇市スタディークーポンモデル事業	11,316
●主食費減免事業	18,118
●沖縄の食の魅力発信拠点整備事業	1,050,580
●那覇市IT人材育成支援事業	1,792
●東京2020オリンピック・パラリンピック関係事業	11,140
●新文化芸術発信拠点施設整備事業	9,445,785
●病院事業債貸付金(那覇市立病院建替え事業等)	1,583,100
●移動支援事業(重症心身障害児通学分)	8,240
●中学校部活動指導員配置事業	10,583
●那覇市防災情報システム整備事業	173,200
●多言語防災リーフレット	9,760
●LRT導入推進検討事業	3,607
●外国人一元的相談窓口	8,962
●住民異動受付総合案内サービス導入事業	36,720
●SDGs推進事業	1,081

結びに 高い志と熱意で市政を

20年ぶりに紙幣を刷新するとの発表がありました。五千円札の肖像画には、津田塾大学の創始者で、日本の女子教育の先駆者と言われる、津田梅子さんが用いられます。教育現場に身を置いた私にとっても、尊敬する教育者が選ばれたことは、大変誇らしく思います。

彼女は、「高い志と熱意を持ち、少数だけでなく、より多くの人々との共感を持てれば、どんな弱い者でも事を成し遂げることができるでしょう」という言葉を残しています。

市長に就任して5年間、「市民との対話」を旗印に掲げて進んでまいりました。これからも常に高い志を持ち、市民とひびきを交え、多くの人々に共感の輪を広げ、笑顔広がる元気なまちNAHAの実現を目指してまいります。

市民の皆様、並びに議員各位のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます、私の施政方針の結びの言葉といたします。

いっぺー にふえーでーびる。

那覇市長 **城間 幹子**